

2023年度 授業改善アンケート第4Q・後期「教員コメント（学生に対するフィードバック）」

講義名	期間名	氏名	学生自由意見記述
経済学入門（M・D・A）	4 Q	小林 大州介	経済学入門を受講された皆様、第4Qお疲れ様でした。演習の方式は悩ましいところですが、毎回行う場合はやはりすぐに採点・返却が難しいところですが、皆さんの復習が充実するよう、さらなる工夫に努めようと思います。たくさんのフィードバック、ありがとうございました。
経済学入門（経済学概論）（S）	4 Q	河野 善文	経済学の問題を少しでも身近な問題として興味をもってもらえるように、今後でもできるだけ多くの経済ニュースをとりあげていきたいと思っています。
基礎英語Ⅱ（M）	4 Q	信濃 吉彦	英語嫌いとお勉強は全く違います。外国語に興味を持って生で外国語話者と話してみたくないですか？世界観が変わりますよ！翻訳アプリを使ってもいいから積極的に行こうよ！どうして後ろを向くかな？？？
基礎英語Ⅱ（M）	4 Q	岡島 徳昭	学生がより授業に参加できるよう工夫したい。
基礎英語Ⅱ（M）	4 Q	石田 暁子	ほとんどの学生の課題提出度が良かったです。また、授業で何度も取り上げた項目の理解度も良かったので、今後の参考としたいと思います。
基礎英語Ⅱ（M）	4 Q	井坂 肇	授業の理解度、満足度は概ね良好であった。音声の速い時に2回再生して進度を調整した点良かった。また、声の大きさ、授業の展開に注意した成果が出ている。確認事項を多く取り入れた点は次年度も継続したい。一方で英語そのものに興味を持っていない学生が多いので、次年度から教科書を変更し、実生活での音の聞き取りをメインにして、クイズ形式の多い、授業に参加している感覚を持てるものにして、
英語入門Ⅱ（M）	4 Q	石田 暁子	学生のこれまでの英語の到達度や取り組みの姿勢に大きな差があったので、授業の進行面で難しさがありました。そのような違いをできるだけ早くつかむ必要があったと感じます。
英語入門Ⅱ（S）	4 Q	横田 肇	受講生が3名だけなので、備忘録的なコメントである。教材がやや難しかったかもしれないが、理解と興味の項目が低かった。単位の不足分を満たすための受講かもしれないが、だとすれば、このような結果になる。ただ、いくらか勉強になったというコメントがあったので、受講生の気持ちの持ちようだと思う。
英語入門Ⅱ（D・A）	4 Q	宮嶋 達也	少人数のクラスという環境で、個々のレベルに合わせて細かな指導が行き届いたようです。この授業が、この先も英語を続けていく土台になってくれればと思います。
ドイツ語入門Ⅱ（M）	4 Q	河田 一郎	ドイツ語を勉強した証として、皆さんは「Danke!」（有難う）と「Bitte!」（どういたしまして）を自然に使えるようになりました。ドイツ語の文法に関しても、基本を何度も繰り返し学んできました。将来ドイツ語が必要になったとき、ドイツ語以外の言語を新たに勉強しなければならなくなった際にも役に立つと思います。
ドイツ語入門Ⅱ（S・D・A）	4 Q	河田 一郎	履修した多くの方に楽しんで授業を受けていただけたようで嬉しいです。今後一人一人のために、そして皆さんの理解のために授業をしていきたいと思っています。「卒業の単位用でしかないため基本やる気が起きない」というコメントがありましたが、どのような状況で授業に参加をされていても、きちんと授業に出席をして、授業を聞いていれば最低限の達成目標を理解できるはずです。それでもわからないときは前に座り、質問するようにしてください。
中国語入門Ⅱ	4 Q	孫 暢	教員として良かった点：受講者が入門Ⅰより減っており、学生一人一人に対応できます。気になる点：授業中に学生が話したりお菓子を食べたりすることがあり、学生の興味を引き出す方法が今後の課題です。学生のアンケートに対する感想：毎回全回の復習から始めることはシラバスの進度に間に合わないですが、入門段階の授業なので、知識をしっかりと学生に理解させたいと思います。来年度のシラバスは要調整と考えられます。
外国語コミュニケーション（M）	4 Q	岡島 徳昭	学生がより授業に参加できるよう工夫したい。
外国語コミュニケーション（S）	4 Q	信濃 吉彦	例年のコメントを踏襲しており一応安心しましたが、一部学生から授業上望ましくない不穏当な発言があった旨指摘がありました。何を指摘しているのかはすぐにわかりましたので今後は十分に気を付けようと思います。
日本語Ⅳ	4 Q	佐藤 恵利	日本語能力試験対策を思っていたクラスだったので、ドリル等が単調にならないよう工夫をしたが、教材があまり適切でなかったという意見がありました。今後も教科書研究を随時行い、学習意欲がわくような授業づくりを心掛けたいと思います。
健康科学（S）	4 Q	尾西 則昭	貴重なご意見ありがとうございます。学生からの改善意見、要望等が少ないようですがその中で学生からの質問に対して共有しているいろいろな事が聞けて良かったとの評価を頂きました今後引き続き取り組んでいきます。ありがとうございました。
貧困に対する支援	4 Q	星野 秀治	初めて受け持つ科目で、試行錯誤しながら展開したのですが、試験の論述では授業内容をきちんと咀嚼できている回答が多かったです。3Qより授業態度も良く、熱心に聞いてくれている学生からの苦情もほとんどありませんでした。アンケートではプリントに書き込みなどをして手を動かしたかったとの声もあり、出席確認のタイミングなども含めて、今後改善していきたいと思っています。

児童・家庭福祉	4 Q	杉本 大輔	禅内容の8割しか講義できなかったことが悔やまれます。
社会福祉調査の基礎	4 Q	杉本 大輔	わかりやすい抗議を心掛けたが学生全員に理解させるだけの力量がなかった。猛省します。
西洋美術史 II	4 Q	竹内 美帆	すべての項目で、「適切だった」以上が90%以上となり、受講学生には満足していただけたと感じました。教科書と紙のレジュメだけでなく、PowerPointや動画などのビジュアル資料を多く使い、実際に自分で描く体験を通して学ぶ活動なども取り入れたことが評価されたのかと考えます。大雪で学校に来られない学生が多数いた際には、急速Teams会議でハイブリッド方式で授業を実施しました。留学生の方にはカタカナ語を覚える難しいが多かったという意見も見られましたので、今後は知識だけでなく、思考力を問う問題の比重を増やしていきたいと思ひます。
ソーシャルワークの理論と方法 II (M)	4 Q	櫻井 美帆子	授業を通し、少しでも社会社会福祉に関心を持ってくれたら幸いです。
ソーシャルワークの理論と方法 II (S)	4 Q	櫻井 美帆子	授業態度が良く、真剣に学んでいる学生が多く、気持ちよく授業を行えました。ありがとうございます。
地域福祉と包括的支援体制 II	4 Q	上原 正希	テキストを指定しているので、引き続き重要な場所などに線を聞くなどの指導をし、国家試験の出題されるであろうポイントも抑えていく。また板書等については、丁寧さを意識していく。
現代の精神保健の課題と支援 I	4 Q	畠山 明子	コメントありがとうございました。配布資料や教材内容の検討等、より理解が深まるように今後も工夫していきたいと思ひます。
ソーシャルワークの理論と方法(専門) III	4 Q	西野 克俊	満足度として、とても満足できた12%、十分満足できた41%、満足できた47%となっており、一定程度満足していただけた内容になっていると実感しました。意見として提示された、GWについては、友人同士のみのGWとなると、学びが減る可能性も考慮し、くじ引き等で工夫をしたいと思ひます。また、学術的考察については、一般論のみで語ることもできない部分があるので難しい部分がありますが、検討していきたいと思ひます。
精神保健福祉制度論	4 Q	大島 康雄	コメントありがとうございます。指摘いただいたことをもとに改善できればと思ひます。聞いていただいていたことが良く分かりました。
地誌	4 Q	塩崎 大輔	授業中の資料に関しては、今後配布するか検討をする。また、より満足度を高めるために、カリキュラム内容を改善する。
肢体不自由教育 II	4 Q	千葉 聡美	後半に模擬授業を設定しているため前半の講義が詰め込みすぎた。人数が多いと十分に模擬授業の時間がとれないため、一部の内容は肢体不自由 I に移す。できるだけ肢体不自由 II は授業づくりについての説明を多くして、模擬授業の準備に充てていきたい。模擬授業は3年生で集中的にやっているため、2年生では少し学習が足りていない。そのため難しく感じる学生も多かったと思われる。
社会心理学	4 Q	松下 守邦	社会心理学の基本的文献『選択の科学』を素材にして、基本的概念の内化を行ったうえで、情報統合して説明記述、発表する学修をすすめてもらいました。皆さんの社会心理学の概念理解が高められるよう、学習技法について授業改善をすすめます。
障害児保育 II	4 Q	坂上 俊樹	受講生の皆さんに二つ謝罪します。一つは、教科書の申し込み手続きができていなかったこと。二つ目は、担当教員がコロナに感染し3回も休講にしたこと。本当にご迷惑をおかけしました。同じことが起こらぬよう最善を尽くします。授業の満足度にかかわり、20%の人があまり満足できなかったと回答しています。今後も、教材研究を重ね満足いただける授業になるよう努力します。
知的障害教育 II	4 Q	藤根 収	受講生の皆さんから高い評価をいただきました。体験的な内容も取り混ぜながらわかりやすい授業づくりに努めてまいりましたが、今後もより学生の皆さんが関心をもって取り組める授業づくりに努めてまいりたいと考えています。
国際法 (M)	4 Q	細川 光法	今後も分かりやすい授業をしていく所存です。
国際法 (S)	4 Q	細川 光法	今後はプリント以外の情報も増やしていくことも考えていきます。より分かりやすい授業を今後もしていく所存です。
子どもの理解と援助	4 Q	吉江 幸子	授業への参加、ありがとうございました。冬の1講目でしたが出席率も良く参加意欲の高さを感じました。またグループワークやアセスメントも積極的に楽しんで参加している様子がみられ満足度も高かったと思ひます。授業に対する理解度も「よく理解できた」が8割以上だったので次年度もさらに改善しながら授業の資料づくりに励みたいと思ひます。
造形表現 I	4 Q	浩而 魅諭	造形表現 I の授業は、表現する以前の、「表現したい。表現せずにはいられない。この気持ちを知ってもらいたい。みんなと分かち合いたい。この感動をなんとか形にしたい。形にして、味わいたい。」その部分の授業です。まず、実体験が大切で、その気持ちを湧き上がらせること、それが重要です。そのため外へ行き自然物と触れたり雪像を作ったりの活動をしました。天候に左右される授業ですので、チームスでの連絡を取り入れてきました。興味がない人にとっては全く興味がない分野の学習でしょう。ですが、皆、最後までついてきてくれました。感謝しています。

造形表現Ⅱ	4 Q	浩而 魅諭	造形表現Ⅱの受講者は昨年度の造形表現Ⅰを履修した学生たちです。造形表現Ⅰではまず思いが大切であること、心を動かされたことを表現せずにはいられない心理状態になって初めて表現すること、技術よりもまずは心、経験、思い、感動が必要であること、その表現手段として技術が必要になることなどを学んできました。造形表現Ⅱでは具体的に表現方法の技術向上を目指しました。意欲的に課題に取り組む学生たちの技術は高まり、学生たちもその伸びを実感出来たようです。私を信頼し、慕い、ついて来てくれた学生たちに心から感謝です。
子どもの健康と安全	4 Q	宮崎 剛司	肯定的な結果や意見は多かったものの、「より」満足できたとの回答が、さらに得られるように努力したいと思います。そのために、個性を重視しつつ、常に学生と講義との進め方についてフィードバックしながら今後は努めていこうと思います。
基礎デザインⅡ	4 Q	林 春生	全体的に効果があったと思うが、課題が難しいからか、為にならない、興味がわかないといったような回答が2%~6%あったので、次回からは「何の為の課題か」「身に着けるべき課題」内容をしっかりと説明する。具体的に分かり易いように工夫する。
WEBデザインⅡ	4 Q	山腰 雅樹	授業の中である程度HTMLやCSSを利用したWEB制作の雰囲気を感じてもらえていると思いますが、しっかりと復習したり、自発的に調べ手を動かすことをしない限り、なかなか理解が深まらないところもあり、苦戦する学生も見受けられます。授業時間外でも学習できる環境をどのような形で提供するかが今後の課題と思っています。
アニメーションⅡ	4 Q	梅田 真紀	すべての項目で肯定的な回答をいただきました。回答の割合から、授業理解度については、より丁寧な確認が必要だと分析しましたので、改善に努めたいです。
キャラクターデザインⅡ	4 Q	三上 いずみ	立体造形への苦手意識がある学生が多くいるため、まずはおもしろいと感じさせる授業を前提に行っている。回答におもしろかったとのコメントがあり大変うれしい。制作活動の幅が広がるきっかけになればと思う。時間配分についてあまり適切でないとの回答が5%あったが、これに関してはこれまでの授業改善から適度な進行であるので学生の方での努力をお願いしたい。
造形論Ⅱ	4 Q	松岡 龍介	この科目は、将来、美術やデザインの専門家として社会で活躍しようとする学生が、在学中に最低限身につけてほしい、知識や、見方、感じ方について毎回、テーマに沿ったレポートを制作することによって、書き言葉を含めた言葉として各自が「まとめ」る力を養うことを目的としています。したがって、内容は、広汎なテーマを設定します。また、本科目を受講するにあたり最低限の美術に関する用語の知識も必要になると思います。
保育の計画と評価	4 Q	吉江 幸子	授業への参加、ありがとうございます。子どもの姿を予想しながら指導案を作成することは難しいと思っています。しかし皆さんが非常に集中して取り組んでいたことが、授業アンケートの高評価にもつながったと感じています。授業に対する理解度も「とてもよく理解できた」が8割、「理解できた」が2割という結果を受け、学生自身が真摯に取り組んだ結果であろうと思っています。
保育内容演習Ⅱ(人間関係)	4 Q	松下 守邦	『保育所保育指針解説』(2018)にある、3歳以上児の「人間関係」、内容①から⑩について、テキスト、関連資料、動画を素材にして統合的学修レポートを仕上げてもらいました。次年度以降、個別思考と集団思考が高められるよう授業改善に取り組みます。
施工管理技士演習Ⅰ	4 Q	小笠原 健	この講座の履修者によるアンケートでは、ほぼすべての学生から高評価を得ています。この講座は、令和6年度の受験要項の改正により、「1級建築施工管理技士検定試験」が、実務経験3年間を得なくても19歳以上であれば受験できるように改正されることが確定しているため、それに向けて次年度受験対策を前倒し、今年度より実施している講座になります。就職先である建設会社では必須の資格であるため、在学中にこの資格を取得することは、就活にも就職後においても大きなアドバンテージになります。
二級建築士演習Ⅳ	4 Q	佐藤 善太郎	この授業は建築士対策の総まとめのもので、卒業試験とも連動している科目で、更には学科科目のみならず、設計製図とも連動するものです。これを足掛かりに、更なるステップアップを期待します、
建築法規Ⅳ	4 Q	佐藤 善太郎	建築法規Ⅳでは、特に避難・防火区画・内装制限を重点的に勉強しましたが授業中にも説明したように、ここは法令集の見方のトレーニングが必要な個所です。時間をかけ過ぎて最後は駆け足になってしまいましたが、そこは配布したプリントや線引きで補ってください。
スポーツ行政学	4 Q	三嶋 康嗣	本年度は履修者が例年より少なかったこともあり、双方向授業という点においては有意義であった。学生がスポーツの視野をより広げられるよう授業づくりに努めたい。
財務会計論	4 Q	川津 大樹	①(テキスト以外の)配布資料に対して好意的な意見を頂けましたが、実務や時事ニュースを取り上げたことが幸いしたと思われま。この取り組みは、今後も続けます。②講義内容については「難しい(から簡単にしてほしい)」という意見と「テストにもっと難しい問題を出してほしい」という双方の意見がありました。次年度は、内容のバランスを取るとともに、定期的なアンケートを取って、受講者の理解度の把握に努めます。

基礎統計演習 (M)	4 Q	河野 善文	今後もわかりやすい説明をこころがけます。また、気象やスポーツの話題など、統計と経営にかかわることを、今後も授業のなかで取り上げていこうとおもいます。また、黒板の広さが限られるなか、大量の板書で見づらくなるがあったのは反省点です。
基礎統計演習 (S)	4 Q	杉本 大輔	統計学の基本的な説明に終始し、演算などができなかった。猛省します。
基礎統計演習 (D)	4 Q	伊藤 裕康	授業中にExcelを用いて実施した演習については、Teams会議を開いて、スマホやPCで確認してもらいながら授業を展開し、授業後には作成したExcelファイルをTeamsにアップして復習に役立ててもらいました。これにより理解を深めてもらえたことから、今後も継続していきます。
基礎統計演習 (A)	4 Q	伊藤 裕康	授業中にExcelを用いて実施した演習については、Teams会議を開いて、スマホやPCで確認してもらいながら授業を展開し、授業後には作成したExcelファイルをTeamsにアップして復習に役立ててもらいました。これにより理解を深めてもらえたことから、今後も継続していきます。
北海道経済論	4 Q	小林 大州介	北海道経済論を受講された皆さん、第4Qお疲れ様でした。良いご評価を頂いておりますが、今回の講義は改善すべき点が多々ありました。今後、多くの学生さんが気持ちよく参加できるよう改善に努めたいと思います。
会社法	4 Q	青山 浩之	会社法は月曜日1講目と火曜日4講目の科目で、履修者69名、平均出席者49.5名（平均出席率71%【前年74%】）という状況で、回答者が46名と回答率66.7%であった。出席不良で採点対象外の学生が14%【前年3%】と出席不良が目立った。シラバスの説明に関する評価では、95%が適切と回答した。授業スキルの評価は、「内容は興味や関心を持てるか」では好評価を受け、授業の全体印象に関する評価では、好評価を得ました。「法律は難しいので事前にteamsで資料送付してほしい」「もっと具体例を示してほしい」と指摘を受けました。オリエンテーションでシラバスの説明をさらに徹底し、加えて興味や関心を持てるように工夫していきたい。
マルチメディア表現	4 Q	由水 伸	○反省点 受講者数がコンピュータ室の定員より多かったため、オンライン受講と併用になりました。そのため、質問等に直接対応する時間が減ったことが、授業の進行に影響を与えていました。また、雪害のため登校できない、遅刻するといったことも発生しました。その際、オンライン授業中、講義が見えない、音声が届き取れないなどの発生があり、講義中に十分確認できていなかったことは強い反省点であったと認識しています。○改善策 上記反省点を踏まえ、今後のオンライン授業を併用において・授業開始時にビデオおよび音声の通信確認を丁寧に行う・録画を行い、授業時間中に視聴できなかった場合にそなえる・授業終了時に全員に状況確認を兼ねたアンケートまたは小テストを行うの3点を考えています。また、実習環境の定員を超えないよう、受講者の制限についても検討します。○授業全般について 補講、追加課題なども行いながら、授業に最後まで取り組んだ学生については合格とすることができました。・学科試験について 残念な点は、学科試験の成績が極端に悪い学生が少なからずいたことで、それが評価点に影響しています。期末試験受験にあたり、事前に配布された資料の再確認やオンラインの練習問題を繰り返して受験するようにしてください。・実習課題について 実習課題は簡単な確認問題が4つ、最終課題が1つでした。力作がある一方で、とりあえず出しておこうという作品もあり、評価点に影響を与えています。課題に書かれていた評価の基準項目はしっかり読み、漏れないようにしましょう。
スポーツ医学	4 Q	黒川 泰任	「スポーツ医学とはどんな内容を扱うのでしょうか？」これこそがこの講義のテーマ、問いかけです。運動はわれわれ動物に与えられたもっとも大切な普遍的機能です。運動を仕事としていく人も、ただ楽しむだけの人も、それから逃れることはできない。その仕組みを理解し、ひいてはそれを究極の美として高めていく。そのために何が必要かを考えてみる大切な機会としてほしい。「運動をすることの意義と可能性」「運動について調べてみる」「運動を科学的観点から人に指導する・されてみる」など、どのような観点からでもかまわなく、その「きっかけ」にしてください。大学生として勉学できる「権利」と「義務」を享受してください。
管理会計論	4 Q	鈴木 重政	厳冬期の月曜日の1講目という時間にもかかわらず熱心に講義を聞いてくれたと思います。レポートの提出率や答案の到達度も高く、教える側として満足しています。
スポーツと栄養	4 Q	湯浅 頼佳	概ね良い評価を頂いたがシラバスの説明を受けていないという意見については毎回「シラバスの説明を受けてない方は授業終了後私の所に来てください。」と声掛けをしているにもかかわらず毎年数名おり、徹底できる方法を考えたい。教科書を使用していないという意見の点でも授業の最初に教科書を網羅したうえで付け加えたものをPowerPointで示している旨の説明をしているのだが徹底できていない事が分かったので改めて考えていきたい。
eビジネス論	4 Q	阿部 裕樹	時流の変化に合わせて授業内容も変えつつ、新しい技術やビジネスモデル等、学生が興味を持つようなトレンドも紹介することで、受講者の満足度を高めていきたいと思っています。

コミュニティ心理学 (M)	4 Q	吉澤 英里	コミュニティ心理学への回答ありがとうございます。(アンケートでは、経営学科と社会福祉学科が別々ですが、共通の回答を掲載いたします) 概ね良い評価を頂けたと解釈しました。ただ、シラバスへの説明があまり適切ではない(6%)という回答をいただきましたので、その点を次年度は改善したいと思います。併せて、自由記述への回答内容も踏まえて、プレゼンテーションの発表順番を工夫します。
コミュニティ心理学 (S)	4 Q	吉澤 英里	コミュニティ心理学への回答ありがとうございます。(アンケートでは、経営学科と社会福祉学科が別々ですが、共通の回答を掲載いたします) 概ね良い評価を頂けたと解釈しました。ただ、シラバスへの説明があまり適切ではない(6%)という回答をいただきましたので、その点を次年度は改善したいと思います。併せて、自由記述への回答内容も踏まえて、プレゼンテーションの発表順番を工夫します。
倫理学概論	4 Q	遠藤 均	とても楽しい雰囲気のなかで授業をおこなうことができました。また、積極的に発言しようという姿勢も授業を活気あるものにしてくれました。ここで学んだことをきっかけとして、みずからの生き方と社会の在り方をより深く考え、自他の将来に活かしてくれると幸いです。
サドセクサ論	4 Q	山本 一彦	受講者数が少ない科目だったこともあり、全体的に理解度は良好な状態であった。ただ、2名程度と思われるが、興味・関心を持ってなかったという結果も出ており、今後は全履修者が関心を持って受講し続けられるための内容展開を心掛けたい。
教育行政学 (M・D・A)	4 Q	木村 浩紀	教育行政を中心に現在の社会の課題について考えてきましたが、よく理解できていたようです。今後も教育や政治等に興味・関心を持ち、皆さんそれぞれができることを考えて行動できるように、授業の工夫・改善に力を入れていきたいと思います。教員を目指す皆さんも大学の講義等を参考(改善点も含め)に模擬授業等に活かしてください。
教育行政学 (S)	4 Q	木村 浩紀	教育行政を中心に現在の社会の課題について考えてきましたが、よく理解できていたようです。今後も教育や政治等に興味・関心を持ち、皆さんそれぞれができることを考えて行動できるように、授業の工夫にも力を入れたいと思います。
教育心理学 (M・D・A)	4 Q	吉澤 英里	教育心理学への回答ありがとうございます。(経営学部・美術学部と社会福祉学部が別々の枠ですが、共通の内容を掲載いたします) 概ね良い評価を頂けたと解釈しました。ただ、以下の項目で「あまり適切ではなかった」や「あまり理解できなかった」という回答をいただきました。・シラバスは授業時の説明や記述が適切でしたか。・先生の話し方(言葉・声の調子等)は適切でしたか。・授業の内容は興味や関心を持てるものでしたか。・この授業の内容は理解できましたか。・この授業は全体的にどの程度満足していますか。上記の点について、次年度は改善したいと思います。
教育心理学 (S)	4 Q	吉澤 英里	教育心理学への回答ありがとうございます。(経営学部・美術学部と社会福祉学部が別々の枠ですが、共通の内容を掲載いたします) 概ね良い評価を頂けたと解釈しました。ただ、以下の項目で「あまり適切ではなかった」や「あまり理解できなかった」という回答をいただきました。・シラバスは授業時の説明や記述が適切でしたか。・先生の話し方(言葉・声の調子等)は適切でしたか。・授業の内容は興味や関心を持てるものでしたか。・この授業の内容は理解できましたか。・この授業は全体的にどの程度満足していますか。上記の点について、次年度は改善したいと思います。
道徳教育の指導法	4 Q	遠藤 均	AIの登場によって世の中の在り方が大きく変わろうとしています。道徳教育の方法論もこれまでとはちがったものになっていくことでしょう。本講では、それを見据え、これからの時代に必要な道徳教育の方法論を考え、実践してきました。ここで学んだことを将来に活かしてくれると幸いです。
特別活動の指導法	4 Q	米野 宏	前任の先生から資料等の協力をいただきながら行った。深みのある授業とはならなかったと反省している。
保健体育科教育法Ⅱ	4 Q	森 靖明	保健の授業の計画を立て、授業実践能力を高めることはもとより、教職に就くために必要な資質・能力をより一層身に付けることができるよう、授業内容の改善・見直しに取り組みます。また、評価方法については、グループ模擬授業の指導案や実践をベースにしましたが、その他の提出物の内容も加味しています。
総合的な学習の時間の指導法	4 Q	西崎 毅	「授業満足度」は、「満足した」以上が100%、「熱意」は、「そう思う」以上が100%、「教材の適切さ」は、「適切だった」以上が100%でした。「パワーポイントで要点が分かりやすく表示されていて、総合的な学習の時間について理解することが出来た。」「授業がとても具体的でわかりやすかったです。」「たくさん知識を学ぶことができました。」「先生のメリハリがあって引き締まった授業でした。」等の評価を励みに、さらなる充実・改善に努めます。
情報基礎演習Ⅱ (A)	後期	伊藤裕・薦田	最後の課題の中間審査に時間が掛かって最終発表プレゼンテーションの時間が足りなくなったため、別日を用意することになり、学生には迷惑を掛けました。今年度で時間配分が把握できたため、来年度からはスムーズに授業展開できると思っています。

平面構成Ⅱ	後期	赤木 良子	「各学生の作品に対する「意味」を知る時間」ですが、芸術作品を作る意味、他人にとっての意味、社会的意味など、教えられるのではなく、自分なりに考えてみてほしいと思います。「課題0_写真で物語を作る」に関してなのですが、過去の作品例を第1クォーターの時点で見せた方が、課題のイメージを掴みやすかったのではないかと、今回は、今回が新しい課題ですので過去の作品はありません。評価方法の提案については、参考にさせていただきます。ありがとうございます。講評の時間が少なかった点に関しては毎年の課題ですので、今後改善して行きたいです。
デッサンⅡ (A)	後期	西田 陽二	大半の学生は短い時間ながら、授業に集中し実力を向上させたように感じた。設問11の「デッサンをする人数とスペースがあていないように感じた」は同感である。他の設問で4% (1~2人) の「授業内容がよく理解出来ない」は授業中に分からない人は質問するように促しているが質問する学生は殆どいない。自分が理解出来ないことをアピールする他の方法を模索中である。
デッサンⅡ (B)	後期	西田 陽二	殆どの学生に成長の痕跡が見られた。他の設問で10% (2~3人) の「授業内容がよく理解出来ない」は授業中に分からない人は質問するように促しているが質問する学生は殆どいない。自分が理解出来ないことをアピールする他の方法を模索中である。
デッサンⅣ	後期	西田 陽二	目覚ましい成長を遂げた学生がいたことを大変うれしく思います。
簿記論	後期	川津 大樹	①「スライドが見えにくい」という指摘については、文字が大きく見えるような資料に作り直します。②「喋り方が早い」という点については、カリキュラムの見直しを行い、余裕を持った進捗ができるように努めます。③「問題演習の時に教員が喋ると不愉快」という指摘については、解き方のヒントを出すために話していましたが、次から黙るようにします。
キャリア支援演習Ⅱ (M)	後期	石山 玄幸	キャリア支援演習は、大学卒業後の進路を考える上で、とても大切な講義となっています。キャリア支援演習Ⅱは、1年次の後期に開講しましたが、今後、学年が上がるにしたがって、より一層、就職を意識して行って欲しいと思います。
キャリア支援演習Ⅱ (A)	後期	横山 哲也	ノート及び座席について検討する。
保育実践演習	後期	吉江 幸子	4年間の保育士養成課程の学びを振り返る機会となりました。学生のコメントにもある通り、実施後の振り返りで気づく事も多々あります。考えを言語化する時間を多くとりましたが、学生同士で協力し合いながら課題抽出→ポスター発表の流れがスムーズだったと感じています。ありがとうございます。
立体構成Ⅱ	後期	梅田 力	評価は概ね良い評価をいただいた。また、授業を楽しめた。今後役に立ちそうだというコメントをいただいた。最終課題に、時間を限定した自由制作に近い課題を取り入れている。学生からの評価はよく、楽しめたとのコメントもいただいたが、教員としては、もう少し課題の範囲を限定したほうが、より質の高い作品が出来上がるのではないかと感じている。来年度に向け課題のさらなる改善を検討したい。
デジタルデザインⅡ	後期	上坂 恒章	設問2.3.4は、「適切であった」以上が100%、設問1.6.7.8.9の「そう思う」適切だった」「理解できた」以上が95%。設問10の「全体的にどの程度満足していますか」は、「満足できた」以上が100%であった。設問11で、「配布資料の情報が常に最新のものに更新されている点が非常に良いと思いました。」「イラストレーターやPhotoshopを使ったことがなかったので、基本の使い方を学ぶことができて良かったです。」「分かりやすく楽しい授業でした！ですが、自分の理解力が貧しく授業に追いつけないことが度々あったので家に帰り復習するようにしようと思いました！」とのコメントを頂き、更に、全員が「充分理解できた」に改善、工夫を進めていきたい。
イラストレーション基礎Ⅱ	後期	佐藤 正人	イラスト基礎Ⅰでイラストの基礎的な内容を重点において進め、イラスト基礎Ⅱではより深くイラスト表現について理解してもらえるようイラスト描法・イラストタッチを重点にした内容で課題についても進めたが7割以上の多くの生徒達が楽しみながらも制作してもらえたようで良かったと思います。ただ個々の制作進行に差が出たので生徒一人一人への配慮も気を付けて進められるよう配慮したいと思います。
プロダクトデザインⅡ	後期	林 春生	為にならない、内容が理解出来ないといったような回答が確認できた。欠席がちな学生が答えたのか分からないが、積み上げ式の授業なので毎回出席してもらわないと、ついていけない現状がある。欠席がちな学生でも理解しやすいように、コンテンツなど分かり易くまとめて手渡し出来るように改善する。
図学Ⅱ	後期	赤木 良子	みんなで分担するという提案は時間内にも直接提案していただきましたね。途中だったためできませんでしたが、とても良い提案だったと思います。今後の改善の参考にしていきたいです。
プロダクトデザインⅣ	後期	林 春生	今回は履修者が少なかった為、自らデザインしたものの実物を作成する事をおこなった。学生の反応も良く、アンケートも高得点で、真剣にとりかかっていた。今後も実物を実現できるカリキュラムを取り入れていく。

洋画Ⅱ	後期	安田 祐造	会話という点で不十分な面が多くあった方もいらっしゃると思いますが、何とか心は通わせられたらなというりと努めました。これからもっともっと皆さんに絵が好きになってもらえるように頑張ります。
漫画Ⅱ	後期	三上 いずみ	漫画Ⅱでは表現力や伝える力を養うことを第一のねらいとして授業を組み立てている。アンケートでは「多くの学び」「達成感を感じた」等、授業を通して得たものがあるとコメントした学生がいたことで授業の意味はあったと感じる。課題制作の時間配分は多くの学生が適切であるとしていたが、今回最後の提出の際に十分な講評をする時間がとれなかったことは今後改善していく。
ビジュアルデザインⅡ	後期	田中 靖之	VD-2は従来から、基本デザインを重視し、『図形・色・文字』の3要素を主体として演習を進めてきました。今季は課題作品の数々を拝見し、講義の趣旨を理解している学生のデザインが『展開デザイン例』を重視していることが顕著に伺えました。来期はこの点を踏まえ、実践事例を増やし講義を進めたいと思います。
イラストレーションⅡ	後期	浩而 魅諭	イラストレーションⅡの受講生の多くはイラストレーションⅠを受講した学生たちです。イラストレーションⅠではデッサンに重点を置いて授業を進めました。いずれプロになった際に自由自在に依頼に応え、且つ、自身の作風を貫いていけるようになるにはデッサン力が必須だからです。美術の基本であるデッサンは陸上競技で言えば筋力トレーニングのようなもので、人によっては辛く苦しくつまらないと感じるものです。それを経てイラストレーションⅡではいよいよ自分らしさを存分に発揮したイラストレーションの制作が学習の主です。一人一人と毎時間話し合いながら思いや困っている点などを聞き取り助言を重ねて来ました。受講生たちは今まで行ったことがなかったことにも果敢に挑戦しました。最後まで私を信じて一生懸命ついて来てくれて心から感謝しています。
イラストレーションⅣ	後期	佐藤 正人	多くの学生に満足してもらえた授業内容となり多くの生徒が満足してもらえた事は結果としては嬉しく思います。次回以降にも実践に即した内容を踏まえながらも、生徒達の興味あるものや現在求められている内容など研究して課題に取り入れるよう検討しながらも、より制作に興味を持ってもらえるような授業内容を進めて行きたいと思います。
日本画Ⅱ	後期	岡 恵子	最後の日本画Ⅱでした。今後学内で紙漉き授業や岩絵具を扱った日本画の授業が出来なくなるのが残念です。日本中の美術大学の日本画授業で、この内容の日本画授業を実施していたのは道都大学だけだと思います。長い間ありがとうございました。
コンテンツデザインⅡ	後期	上坂 恒章	設問1~5までの「適切だった」以上が100%、「充分適切だった」以上が90%、設問6.7.9では、「そう思う」以上が100%、「充分そう思う」以上が90%。設問8.10の理解、満足度では、「理解できた」以上が100%、「充分理解できた」が80%と難易度の高い科目であるので、充分が評価を得たと思う。更に、授業の進め方を改善し、「充分」以上を100%目指したい。総合的に非常に良い評価であった。
技法・材料研究Ⅱ	後期	安田 祐造	絵画制作の楽しさを感じてもらえたなら、担当者としても大変うれしいです。これからも、卒業後にも絵に関心を持ち続けてもらえたらと思います。
彫刻Ⅱ	後期	梅田 力	本授業では、毎年模刻を行い、木彫の技法や道具の使い方を学ぶことに重点を置いて課題を課してきた。しかし、本年度ではできれば、この技法の習得のほか、自由度の高い課題も課し、2課題制を目指そうと、例年よりドローイングの時間を減らす等、時間を昨年改善してみた。しかし、2課題目に取り組めた学生は少数であり、少し制作を焦らせてしまったかもしれない。木彫は安全面も含め、技法と道具の使い方を学ぶ必要があるため、模刻は重要であるが、出来れば自由度の高いオリジナル作品を作れる課題も取り入れたい。来年度は自由度の高い課題を行いたい学生、より基礎をしっかり学びたい学生は模刻をそれぞれ選べる選択制を検討したい。
漫画Ⅳ	後期	五十嵐・鴨	結果はおおむね良好と感じています。授業の良かった内容を具体的に挙げてくれたコメントもあり参考になりました。引き続き、学生一人一人の知りたい事・上達したい事をしっかり理解しアドバイスしつつ全員にムラなく授業を理解してもらえるような工夫を考えていきます。
彫刻Ⅳ（3年）	後期	国松 明日香	授業全体を通して概ね良好な回答であった。シラバスについて具体的な記述はなかったが来年度は若干改良したいと考えている。中間審査の時期をもう一週早めることと講評会の改善を図りたいと思う。中国からの留学生との意思疎通については板書を多くしたりして改善できるよう工夫したいと思う。
彫刻Ⅳ（4年）	後期	国松 明日香	授業全体を通して概ね良好な回答であった。3年生との合同授業のため授業改善コメントはほぼ同じとなります。シラバスについて具体的な記述はなかったが来年度は若干改良したいと考えている。中間審査の時期をもう一週早めることと講評会の改善を図りたいと思う。中国からの留学生との意思疎通については板書を多くしたりしてよりよく理解できるように努めたいと思う。

建築史	後期	木下 泰男	一部学生に無駄話している余裕がない等の演習ポイントの確認により集中させ、他の学生に迷惑をかけることのない後期の学生指導が不足だったことは否めず、意欲を持って取り組む学生にとっての迷惑を払拭できなかったことの反省を改善し、より良い授業にしたい。
建築設計演習Ⅱ	後期	日野 桂子	設計演習Ⅱの授業は、はじめての設計課題ではないので自分の建築に対する発想や設計の考え方をオリジナリティーあるものを出してもらいたいと思ってます。建築設計の創る楽しさを学んで欲しいと思います。それを楽しんでやる生徒は多いですが、授業の中で1本の線も進まない生徒もいました。声をかけて進む生徒と全く進められない生徒もいました。期限内に出した生徒は減点がないですが、少し手を加えたらよくなる生徒もいましたので1回目の課題は1度提出を受け付けて後で手直しをしても良いことにしました。最初の提出が期日より遅れて提出した生徒は減点してあります。
ユニバーサルデザイン演習	後期	安藤 淳一	ユニバーサルデザインが目指すものはデザインにおける究極の概念とその実施であるため、今年度よりさらに次年度はそこに1歩でも近づけるような学修機会を用意していこうと思います。
CAD演習Ⅰ	後期	佐藤善・伊藤裕	図面作業の指示を出した後は、主に質問してくる学生への対応をしていましたが、分からないが質問もしない学生への対応も必要だと感じました。机間巡視を多くして、そういう学生を見つけるように努めようと思います。
応用数学	後期	横山 哲也	説明の仕方を工夫する。
CAD演習Ⅲ(2年)	後期	佐藤善・伊藤裕	課題内容を授業時間内にできるものを多く設定したため、ほとんどの学生が授業内に課題を終えることができたと思います。取り残されると課題を残したままにする傾向があるため、学生が同じ課題に取り組めるように授業をすすめることができたと思います。
建築学特講Ⅰ	後期	柿沼 博彦	授業アンケートのお答えを頂きありがとうございます。お答えくださった方が、10人中3人だったのは寂しい感じでしたが、頂きました結果は今後の参考にさせていただきます。授業の中で残念に感じたのは、質問、意見、感想などがほとんど聞かせて頂けなかったことです。孔子の「書経」に「教学半」という言葉があります。教えることは半分学ぶの意味ですが、小生も半分学ぶことを期待してしました。これからの時代は授業の「共有化」ということが大切に思います。
ビジネスコミュニケーション演習	後期	本間 智子	ビジネスマナーやコミュニケーション能力を身につけた人材が多く企業の求められている現代において、2年生という早い段階からこの授業を通して得られた知識は今後のインターンシップや就活に大変役に立つと同時に、将来社会人としてビジネス活動を行う上で非常に大事とされている人間関係構築に効果を発揮できるであろうと思います。尚、実践的ロールプレイ等に時間をかけたことによりプレゼンテーションを学ぶ授業が短縮されたため、授業計画において時間配分の改善を課題としていきます。又、留学生が数名履修されておりましたが、日本人学生皆が主体性を持ち自らコミュニケーションを取り協力的に授業に参加している姿は誇らしく感じた反面、教える側としては母国語ではない留学生を含む授業方法改善の必要性があると感じております。
ダンス	後期	天野 雅斗	現代的リズムのダンスにおける基礎的なリズムや身体の使い方は身についたが、創作ダンスの制作に繋げる表現活動の機会が少なかった。今後はより創作ダンスへの比重を増やす。
絵画	後期	西田 陽二	適切な学生数で指導も行き届き、皆熱心に学習し良い成果を出していたと思います。
社会科・地理歴史科教育法Ⅱ	後期	塩崎 大輔	課題の提出方法については、次年度以降に統一する。また教員の働きかけが見えづらかった部分もあるため、来年度以降の授業進行を改善していく。
社会科・公民科教育法Ⅱ	後期	松下 守邦	履修学生の皆さんに、指導案作成と模擬授業実施、授業振り返りレポートの作成をしてもらいました。教材研究、指導案作成、授業実施には「手間暇をかけること」の重要性が認識できるよう、さらに授業計画の改善をすすめます。
保健体育科教育法Ⅲ	後期	高井 雅一	少数の履修者であったが集団の能力差があり授業に苦慮しました。劣っている学生を排除することは簡単ですが、教育とは、一つのまな板の上に生徒をのせ、落ちないように個々にあった教育活動を考えて教えなければなりません。来年度に向け、協力し合い、学生が補充できるように自覚させ、指導していきたいと思えます。
保健体育科教育法Ⅳ	後期	高井 雅一	概ね良好の評価をいただきました。1・2年生の授業参加については、履修している授業ではないので強制的に参加させることは難しいが、来年度は声かけをしようと思います。また、模擬授業後の反省時間について、グループでの話し合う時間を充実させていきたい。
キャリア支援演習Ⅲ(M)	通年	石山 玄幸	キャリア支援演習は、大学卒業後の進路を考える上で、とても大切な講義となっています。キャリア支援演習Ⅲは、3年次に開講しましたが、講義終了後、すぐに就職活動がスタートします。講義で学んだことを活かして、就職の内定を獲得できることを祈念しています。
キャリア支援演習Ⅲ(A)	通年	横山 哲也	時間配分など進め方を検討。

保育実習指導Ⅱ	通年	吉江 幸子	4年間の集大成である最後の実習に対して真摯に臨んだ学生の皆さん、大変お疲れ様でした。保育実習ⅠからⅡへの関連付けを理解し、実習をはさんで事前・事後指導でPDCAを意識した学修ができたと思います。学生の皆さんの評価から満足度が高かったことがうかがえました。今後のキャリアに活かされることを期待しております。
保育実習指導Ⅲ	通年	湯浅 頼佳	概ね良い評価を頂いたが、これに満足せず、更に学生の「授業に対する満足度及び充実度」が高まるよう心掛けたい。
スクールソーシャルワーク実習指導	通年	上原 正希	受講された学生には、おおむね好評だった評価をしていただきました。実習にむけて具体的な書類の書き方、実習に向けての話なども好評であった。次年度も同じ評価をいただけるように望みたい。